

平戸市地域おこし協力隊 令和6年12月活動報告書



《自己紹介》

園田 美貴(そのだ みき)

出身地：長崎県平戸市（40年ぶりのUターン）

活動地：紙漉の里ふれあい施設（平戸市山中町）

《活動の内容》

紙漉の里ふれあい施設の管理運営

★地域の方の交流の場として、イベントを企画します！

★観光客の方にも来て頂ける場所にします！

★紙漉の里のイベント情報を発信します！



Instagram
みてね

12月の来館者数 69名

12月7日（土）クリスマス日に近いこともあり、中部地区の花と野菜の『よかじゃん』吉田先生のご指導のもと、クリスマスリース・籠作り・寄せ植えのワークショップを開催し、6名の方に参加していただきました。

吉田先生から、自由に好きなように作って下さいという掛声で始まり、思い思いに「どういう色のリボンにしようかな？松ぼっくりは、どう飾り付けようかな？」と、楽しくおしゃべりしながら籠を編んだり、リースを作れて満足されていました。吉田先生の寄せ植えは“魔法の手”と思わせるくらいとても素晴らしく素敵な寄せ植えが完成しました。紙漉の里ふれあい施設は、こういった楽しいイベントを今後も企画し、地域の皆さまが気軽に来ていただけるようにしていきたいと思えます。



12月20日（金）・12月21日（土）の2日間平戸市在住の井上直美先生主催でアロマテラピーワークショップ第二弾を開催しました。

両日2名ずつの合計4名の方に参加していただきました。前回と同じように、井上先生から精油の作用について注意点などを聞き、アロマミツロウのハンドクリームの作成に取り組んでいました。

今回わたしはサポートに回りましたが、参加者の方は熱心に講義を聞いており、理科の実験でもしているような雰囲気でした。ハンドクリームが出来るまではケーキやお饅頭、また館長が作ってくれた焼き芋を頬張りながら、世間話に花を咲かせて楽しい時間を共有することができました。こじんまりとした中での開催でしたが、紙漉の里は初めてという方もおり、主催者の井上先生からは、アロマテラピーの活動を通して、紙漉の里も知ってもらいたいという想いから、いろんな人に「紙漉の里を利用しているのよー」と宣伝をしているとお話がありました。とても嬉しく思い、紙漉の里ふれあい施設をもっと知っていただけるよう頑張ります。



地域のかたからいただいたサツマイモで焼き芋を焼きました。2024年4月に着任し、いろんなカタチで地域のみなさんと繋がることができ、また、地域のみなさんにご協力いただきながら日々活動してきました。2025年はこの紙漉の里がたくさんの笑顔であふれるよう地域おこし協力隊としてがんばりたいと思います。

2025年もどうぞよろしくお願いいたします。

施設利用・
イベント開催の際は
事前に
ご相談ください

☎0950-24-2232